

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)4月

「庄内さくら学園」開校に向けて

4月、令和4年度(2022年度)がスタートしました。いよいよ義務教育学校「庄内さくら学園」開校まで1年となりました。そこで、島田小、庄内小、野田小、庄内さくら学園中の3小1中の取り組みや活動等を教職員、保護者、地域の方々に広く知っていただき、お互いに開校に向けての意識を共有できればと考えています。そこで今年度は、取り組みの様子や子どもたちの頑張り等を報告するために、「さくらの花だより」を定期的に発行することとしました。第1号は、児童会・生徒会の交流会の様子をお知らせします。

自分たちの学校は自分たちで創る ～児童会・生徒会交流会より～

3月25日(金)に、島田小、庄内小、野田小そして庄内さくら学園中の児童会・生徒会の交流会が、庄内さくら学園中学校の多目的室で行われました。当日は、児童会・生徒会の子どもたちあわせて28名が集い、1年後に開校する義務教育学校「庄内さくら学園」に向けて、6つのグループに班分けをし①児童会、生徒会の目標は? ②委員会の種類や名称は? ③児童会・生徒会の名前は? ④マスコットキャラクターは?等、4つのテーマで話し合いが持たれました。

目標については、「仲間とともに支えあい、認めあう心をもつ」、「一人ひとりが自立する、明るい未来のために」、「人との関わりを大切にしながらその人たちと協力することで団結力を深める～豊かな未来へ～」、「思いやりの心を持ち、仲間と協力して笑顔のあふれる学校」、「みんなが協力し、助け合える学校にする」、「一人ひとりを大切にして、思いやりを深める」等、こんな学校にしていきたいとの思いがあふれた意見がたくさん出ていました。また名称については、「さくら会」「みんなつながりプロジェクト」「さくら代表会」「さくらわんちむ」等の声が上がっていました。

そして「委員会をどうするのか」、「マスコットキャラクターは?」等についても、各グループとも積極的に意見が交わされ、これからできる「庄内さくら学園」にしっかり思いをよせて考えている姿に出会うことができました。交流会を終えての児童会の子どもたちの感想が、何よりもそのことを感じさせてくれました。少し紹介します。

「今日、この児童会生徒会交流会に参加して感じたことがあります。それは、自分たちはただ学校に行くのではなく、自分たちだけの学校に行き、その学校を創りあげるという意識をもちながら参加できたということです。他人事として考えず、一人ひとりが主役の学校をめざし、真剣にみんなの意見を取り入れながらできたので良かったです。」

「今日、この小中交流会に参加して、前まであまり実感がわかなかったさくら学園が、今日を通して一気に身近なものになりました。また自分たちが、これから過ごしていく場所を自分たちで創っていくことの素晴らしさを知ることができました。来年のさくら学園開校に向けて、自分にできることに取り組んでいきたいです。」

庄内さくら学園開校に向けて、自分たちの学校をより良いものにしていくための話し合いが積極的に行われ、「自治の力」の意識が高まっていくと実感できる交流会となりました。

